



PRESS RELEASE
報道関係 各位

2021年12月12日
公益財団法人日本パラスポーツ協会
日本パラリンピック委員会

国際パラリンピック委員会(IPC)理事に 日本パラリンピック委員会(JPC)推薦のマセソン美季氏が初当選

2021年12月11日～12日、国際パラリンピック委員会(IPC)総会がオンラインで開催され、12日に実施されたIPC理事選挙で、日本パラリンピック委員会(JPC)より推薦したマセソン美季氏が初当選しました。

マセソン氏は長野1998パラリンピック冬季競技大会で金メダルを獲得したパラリンピアンです。競技引退後は、ジャーナリスト、教師、人権活動家、パラリンピック教育の推進者など様々な立場で世界各国で活躍し、障がいのある人たちのインクルージョンに向けた社会の変容を促す役割を果たしてきました。

当選に当たりマセソン氏は、

「今回の当選は、史上最も難しい状況下で大会を開催した日本、オリパラに関係なく、諸外国で見返りを求めず支援を続けてくださった大勢の日本人の力のお陰です。パラスポーツを通してインクルーシブな世界を具現化する活動に力を注ぎ、結果を示していくことが使命だと感じています。パラリンピアンとして、障がい当事者として、女性として、アジア人として、旗幟鮮明(*)を心がけて参ります。」

と述べており、パラリンピックムーブメントの更なる発展に寄与することが期待されます。

*旗幟鮮明(きしせんめい):主張や態度などがはっきりしていること。



マセソン 美季

生年月日 1973/7/17

学歴 東京学芸大学 教育学部



略歴

2018年4月	国際パラリンピック委員会(IPC)教育委員
2018年8月	国際オリンピック委員会(IOC)教育委員
2019年6月	日本パラリンピック委員会運営委員会委員

パラリンピック関連

1998	長野 1998 パラリンピック冬季競技大会 アイススレッジスピードレース女子 LW10 500m、1000m、1500m (世界新)の3種目で金メダル、100m で銀メダルを獲得
2000	シドニー 2020 パラリンピック競技大会にメディアとして参加
2002	ソルトレーク 2002 パラリンピック冬季競技大会に通訳ボランティアとして参加
2010	バンクーバー2010 パラリンピック冬季競技大会にメディアとして参加
2016	リオ 2016 パラリンピック競技大会に IPC ボランティアとして参加
2016-	I'mPOSSIBLE 国際版開発に関わる
2016-	I'mPOSSIBLE 日本版事務局 開発責任者
2018-	IPC 教育委員会 委員
2018-	IOC 教育委員会 委員
2019-	IPC 認定 I'mPOSSIBLE 国際エドゥケーター
2019-	日本パラリンピック委員会 運営委員
2020	東京 2020 パラリンピック競技大会に日本代表選手団副団長として参加

以上

<本件に関するお問合せ先>

日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会

企画広報部 黒田・赤星

E-mail:jpcjpsa-media@parasports.or.jp